

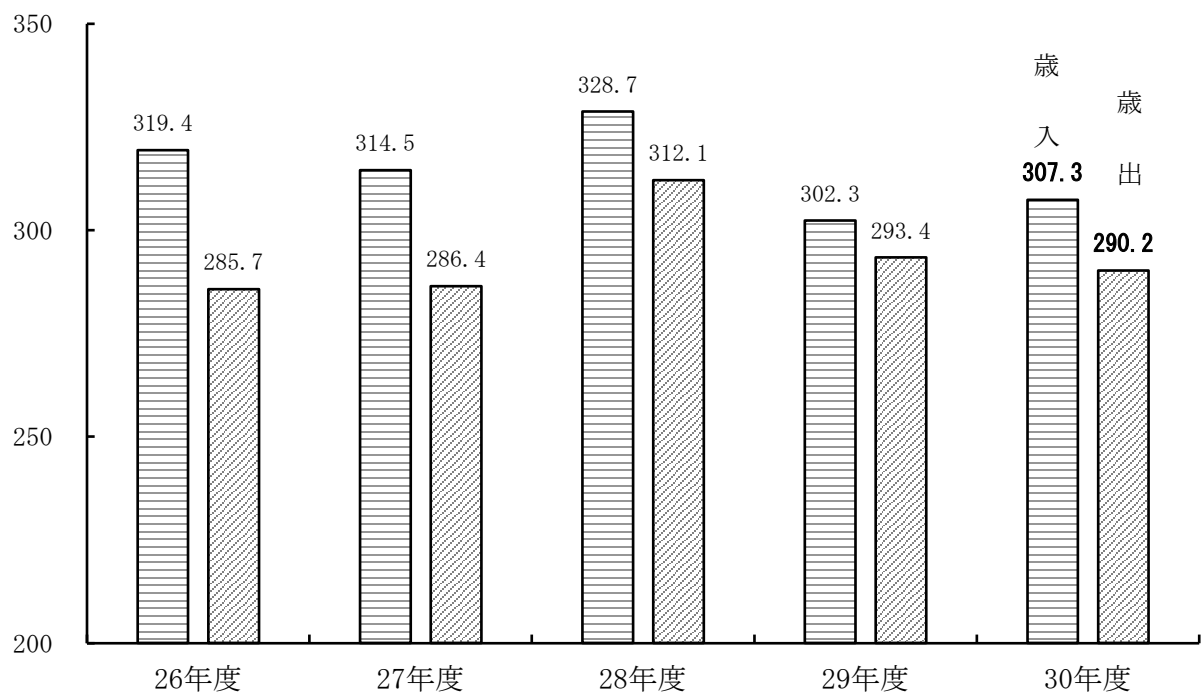
平成30年度一般会計決算の概要

H31.3.31 住民基本台帳人口 65,510 人
世帯数 26,135 世帯

1. 決算規模

平成30年度一般会計の決算規模は、歳入 30,731,898千円で対前年度 1.7%増、歳出 29,015,887千円で対前年度 1.1%減となり、翌年度へ繰り越すべき財源 646,150千円を差し引いた実質収支は、1,069,861千円となった。（第1表）

第 1 表 決算規模の推移 (単位：億円)



(単位：千円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
歳入	31,943,134	31,445,787	32,874,481	30,229,672	30,731,898
歳出	28,574,112	28,638,075	31,213,889	29,336,547	29,015,887
歳入歳出差引額	3,369,022	2,807,712	1,660,592	893,125	1,716,011
翌年度へ繰り越すべき財源	1,183,027	341,756	88,538	127,318	646,150
実質収支額	2,185,995	2,465,956	1,572,054	765,807	1,069,861

2. 歳 入

歳入決算額の構成比を見ると、地方交付税が 28.9%で第1位、市税が 24.7%で第2位を占めている。（第2－1表）

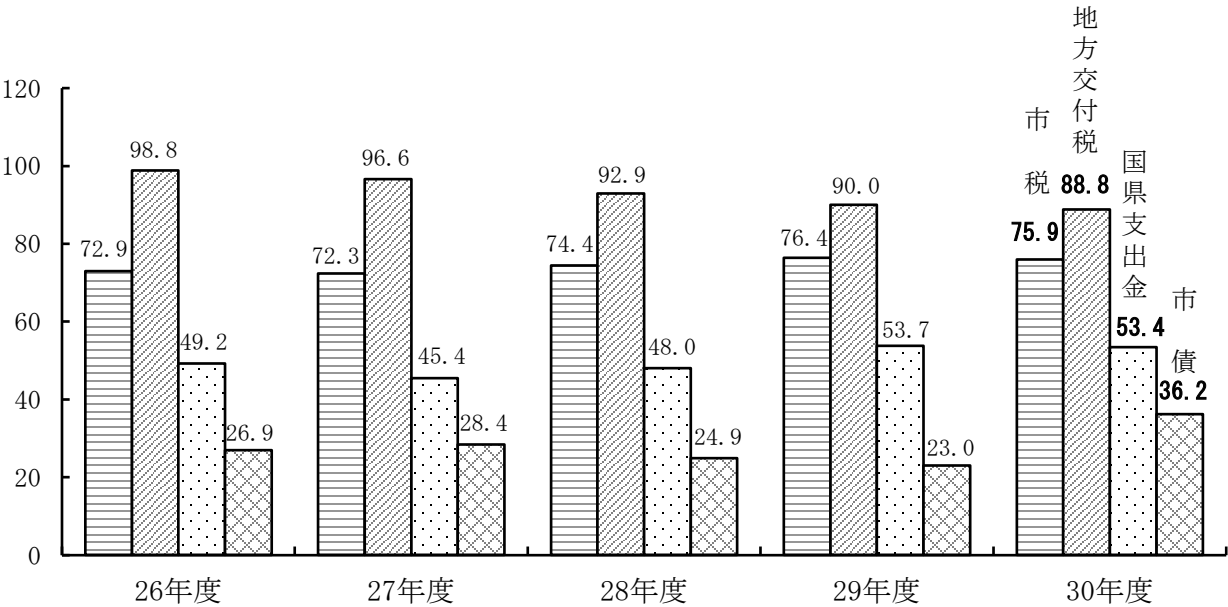
第2－1表 歳入構成比の推移 (単位：%)

	市 税	地 方 交 付 税	国 県 支 出 金	市 債	そ の 他
26年度	22.8	30.9	15.4	8.4	22.5
27年度	23.0	30.7	14.4	9.0	22.9
28年度	22.6	28.3	14.6	7.6	26.9
29年度	25.3	29.8	17.7	7.6	19.6
30年度	24.7	28.9	17.4	11.8	17.2

歳入決算額の主な項目（第2－2表）

市 税 ----- 7,589,543千円で前年度比 0.7%の減となった。
地方交付税 ----- 8,878,073千円で前年度比 1.3%の減となった。
国県支出金 ----- 5,341,814千円で前年度比 0.6%の減となった。
市 債 ----- 3,615,400千円で前年度比 57.2%の増となった。

第2－2表 歳入項目別決算額の推移 (単位：億円)



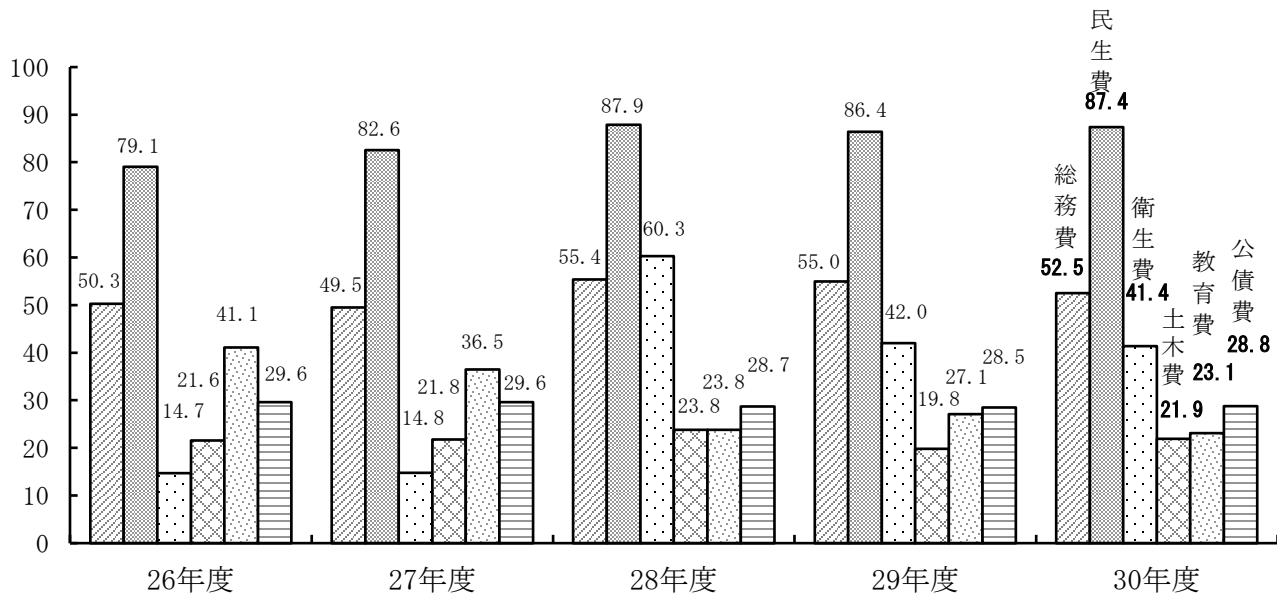
(単位：千円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市 税	7,285,268	7,226,053	7,440,588	7,644,326	7,589,543
地方交付税	9,875,898	9,663,564	9,291,726	8,996,249	8,878,073
国県支出金	4,920,488	4,536,817	4,795,754	5,373,049	5,341,814
市 債	2,690,400	2,842,300	2,488,900	2,300,600	3,615,400

3. 歳 出

歳出の主な目的別内訳は、総務費 5,248,789千円、民生費 8,744,117千円、衛生費 4,135,332千円、土木費 2,190,046千円、教育費 2,309,493千円、公債費 2,881,223千円となっている。（第3－1表）

第3－1表 目的別歳出の決算額の推移 （単位：億円）



(単位：千円)

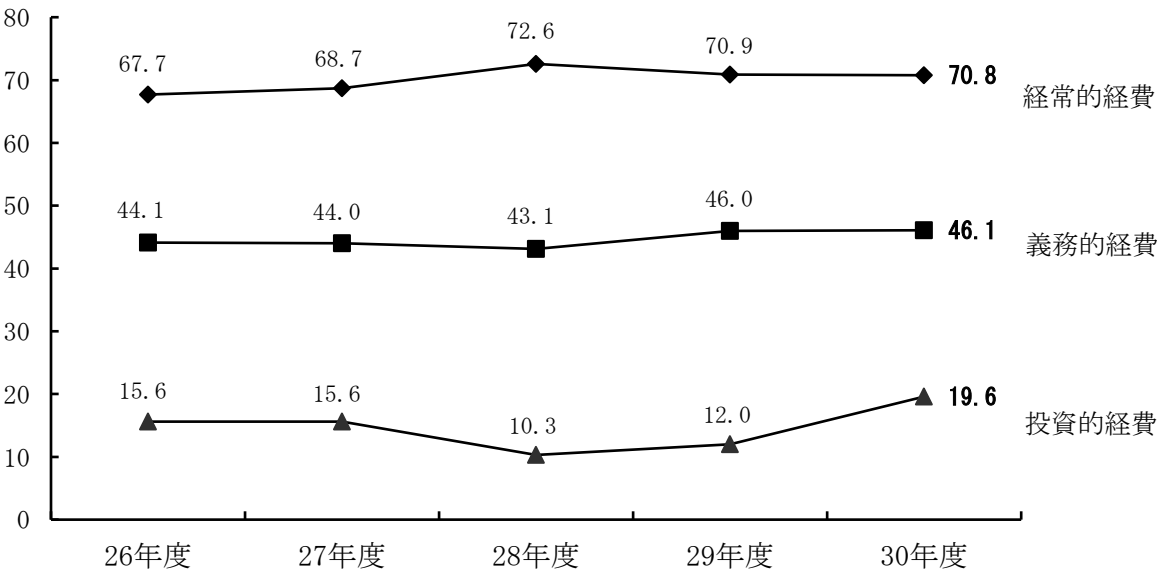
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 務 費	5,030,233	4,953,743	5,535,819	5,495,871	5,248,789
民 生 費	7,906,206	8,264,012	8,794,044	8,635,184	8,744,117
衛 生 費	1,469,379	1,475,089	6,027,760	4,199,264	4,135,332
土 木 費	2,159,570	2,182,852	2,380,219	1,984,632	2,190,046
教 育 費	4,108,584	3,648,719	2,375,484	2,712,279	2,309,493
公 債 費	2,957,710	2,962,001	2,869,062	2,854,108	2,881,223

義務的経費の割合は、前年度と比べて0.1ポイント上昇し、経常的経費の割合は0.1ポイント低下した。また投資的経費の割合は、7.6ポイント上昇した。
(第3-2表・第3-3表)

第3-2表 性質別歳出の構成比 (単位：%)

	人件費	扶助費	公債費	物件費	補助費等	維持補修費	投資的経費	その他
26年度	17.4	16.4	10.3	11.7	11.4	0.5	15.6	16.7
27年度	17.0	16.7	10.3	11.9	12.3	0.5	15.6	15.7
28年度	17.5	16.4	9.2	10.9	18.0	0.6	10.3	17.1
29年度	18.9	17.4	9.7	11.1	13.2	0.6	12.0	17.1
30年度	18.9	17.3	9.9	11.4	12.6	0.7	19.6	9.6
義務的経費					46.1			
						経常的経費		
						70.8		

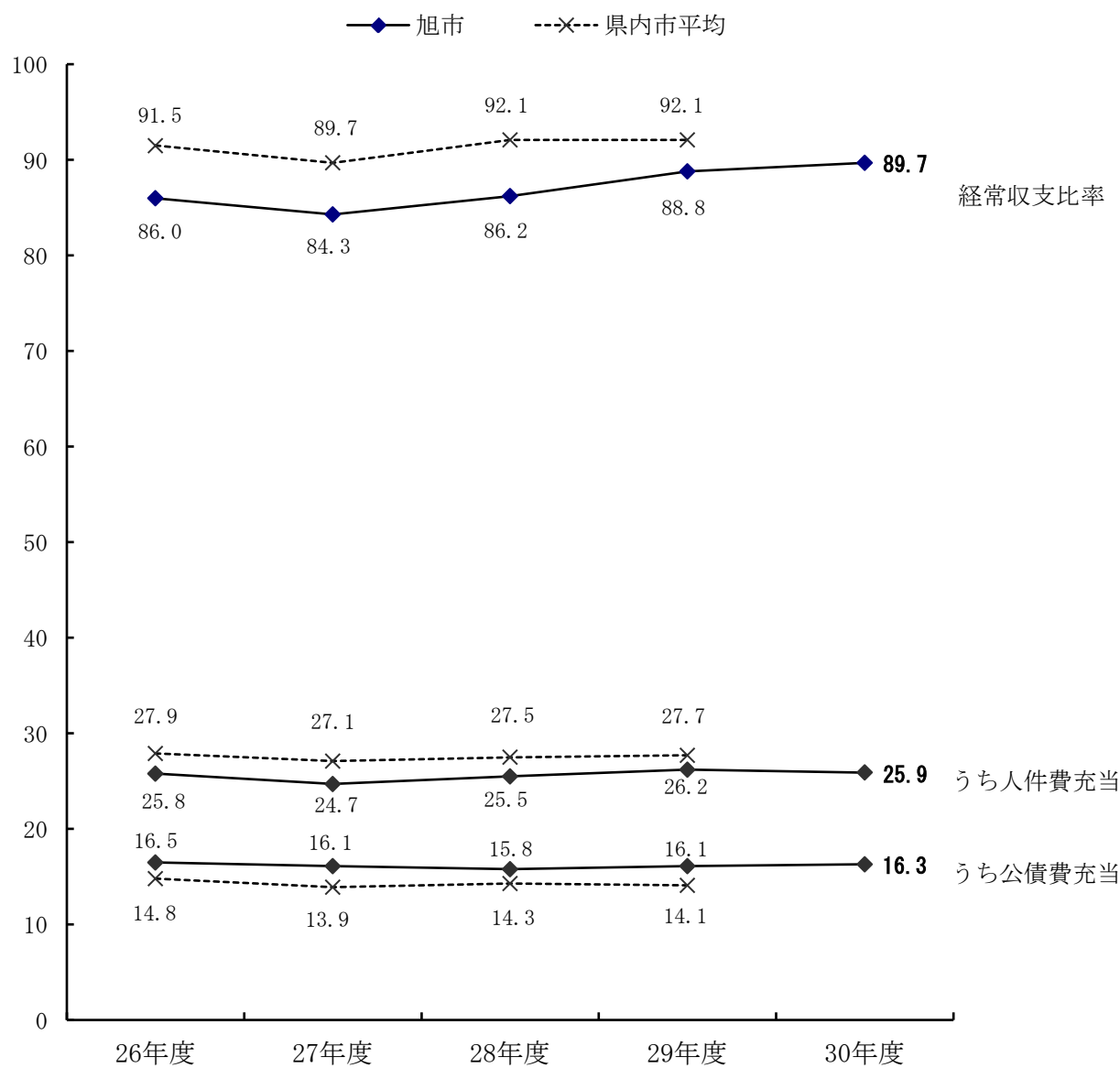
第3-3表 性質別歳出構成比の推移 (単位：%)



4. 財政の弾力性

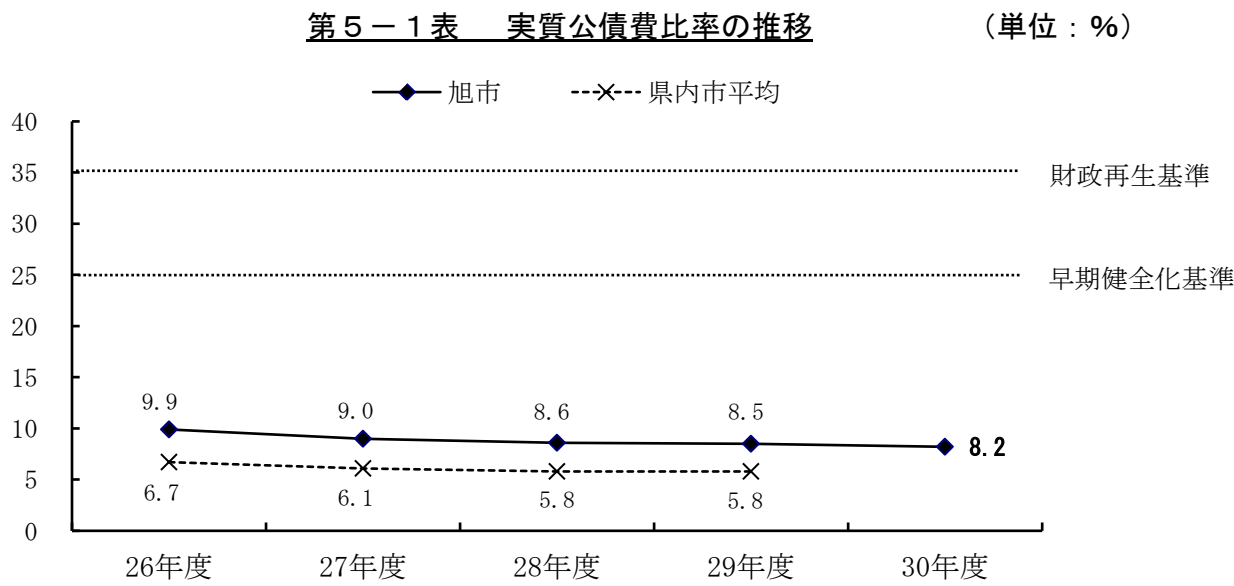
経常収支比率は 89.7%で、前年度と比べて 0.9ポイント上昇した。
このうち、人件費充当は 0.3ポイント低下し、公債費充当は 0.2ポイント
上昇した。（第4表）

第 4 表 経常収支比率の推移 (単位：%)

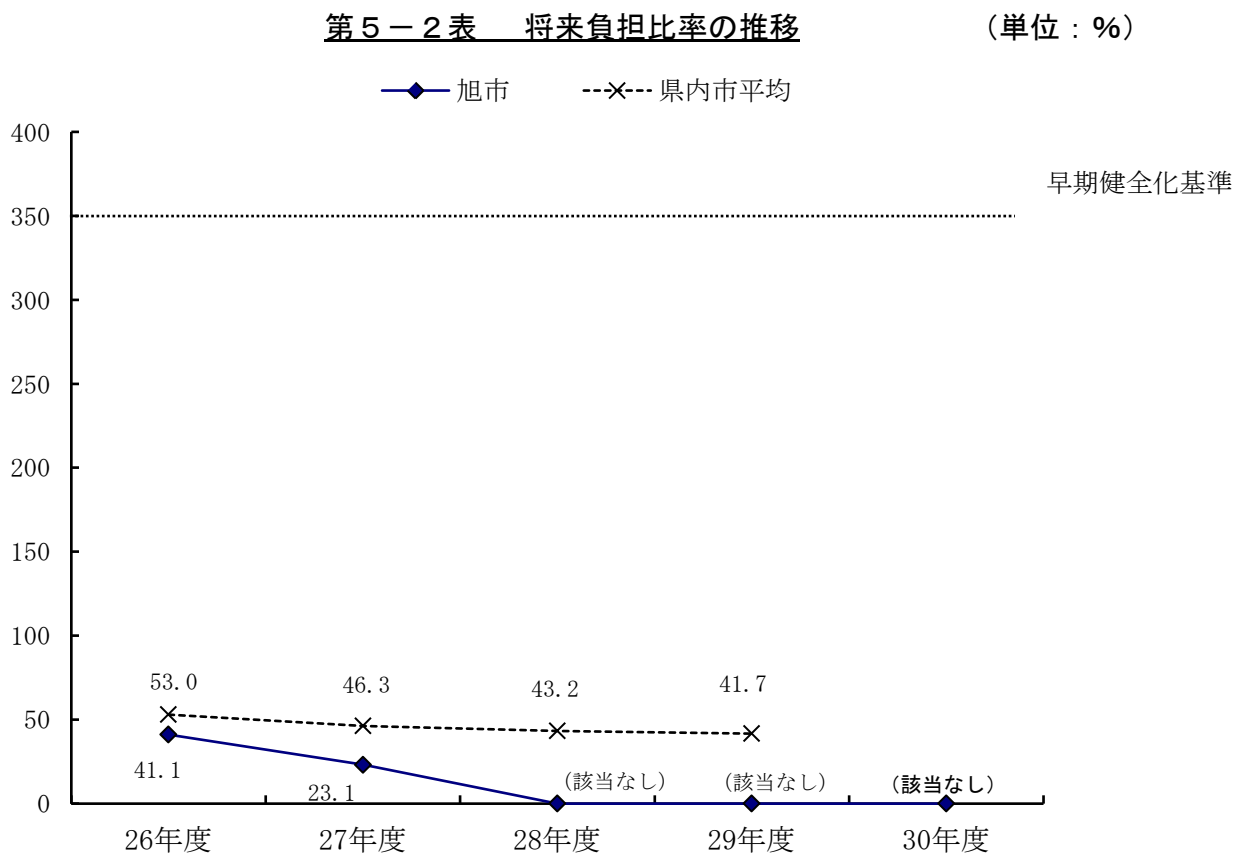


5. 将来の財政負担

実質公債費比率は、8.2%で前年度と比べて 0.3ポイント改善しており、早期健全化基準の25%を下回っている。（第5－1表）

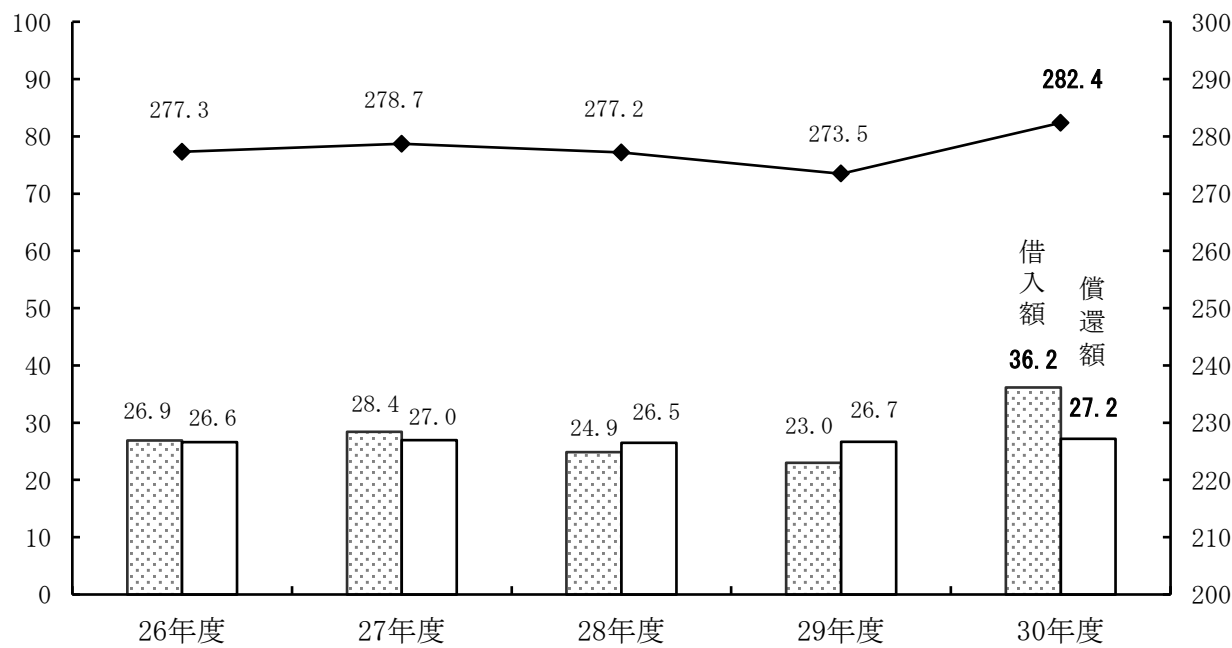


将来負担比率は、昨年度同様、将来負担額を充当可能財源等が上回ったため算定されなかった。（第5－2表）



市債現在高は、28,242,806千円で、前年度と比べて 890,668千円増加した。
(第5－3表)

第5－3表 市債現在高・借入額・償還額の推移 (単位：億円)



(単位：千円)

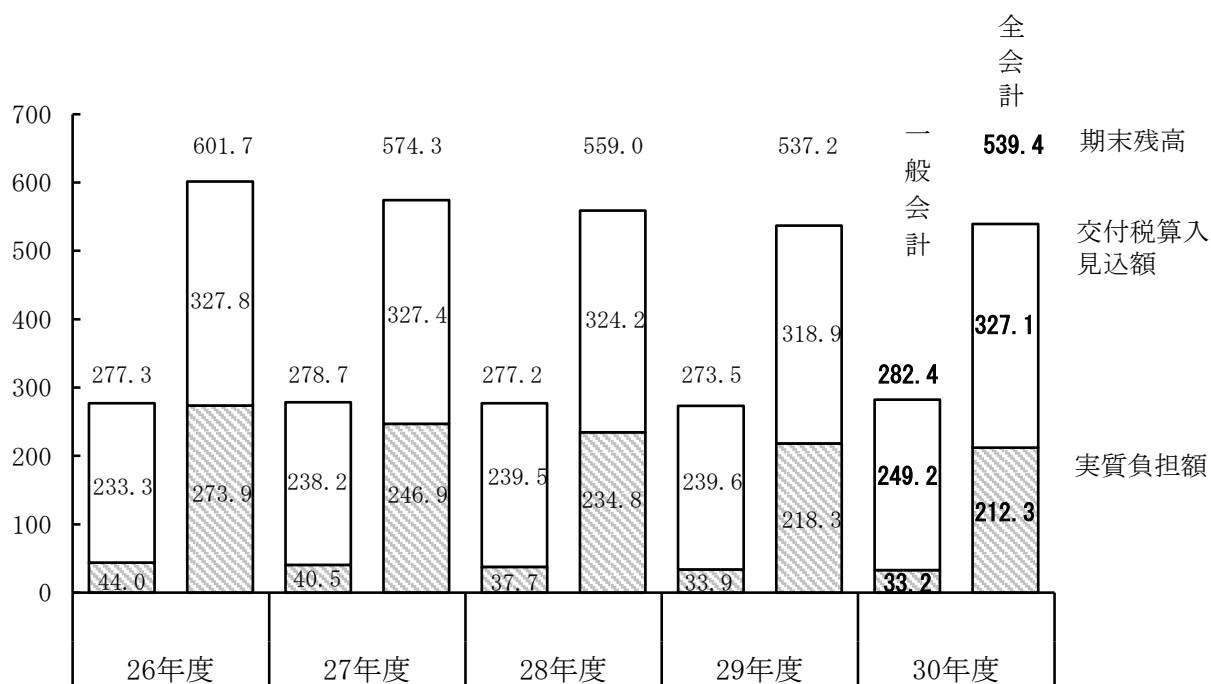
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
借入額	2,690,400	2,842,300	2,488,900	2,300,600	3,615,400
元金償還額	2,660,523	2,699,866	2,645,328	2,666,714	2,724,732
市債現在高	27,732,246	27,874,680	27,718,252	27,352,138	28,242,806

市債現在高のうち、交付税算入見込額を除いた実質負担額は、一般会計で3,319,422千円となり、前年度と比べて72,776千円減少した。

(第5－4表)

第5－4表 市債現在高と交付税算入見込額

(単位：億円)



(単位：千円)

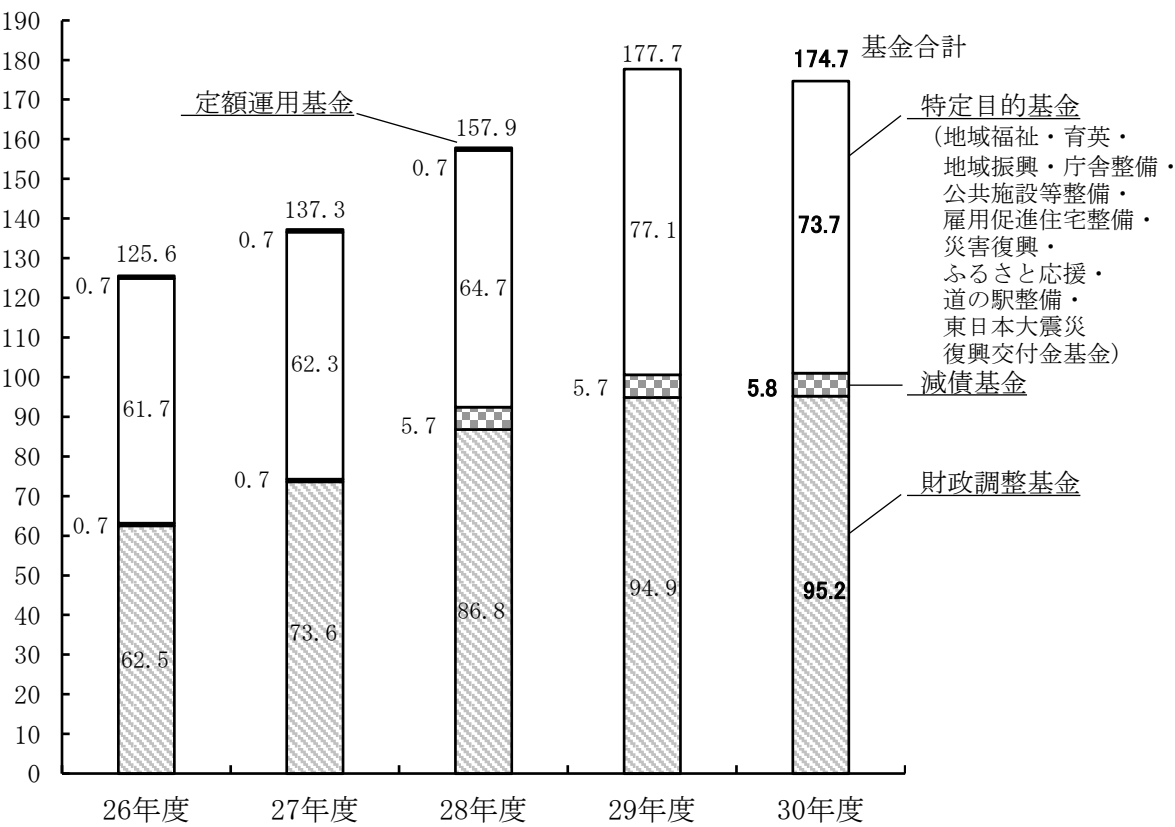
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一般会計	期 末 残 高	27,732,246	27,874,680	27,718,252	27,352,138	28,242,806
	交付税算入見込額	23,327,409	23,817,462	23,947,413	23,959,940	24,923,384
	実 質 負 担 額	4,404,837	4,057,218	3,770,839	3,392,198	3,319,422
全会計	期 末 残 高	60,168,875	57,427,123	55,897,416	53,721,550	53,944,091
	交付税算入見込額	32,780,545	32,736,504	32,419,616	31,892,067	32,711,212
	実 質 負 担 額	27,388,330	24,690,619	23,477,800	21,829,483	21,232,879

※交付税算入見込額は、国の理論計算に基づく積算額

6. 基金の現在高

一般会計の基金現在高は 17,465,715千円で、前年度と比べて 308,188千円減少した。
このうち、財政調整基金は 9,517,540千円で、前年度と比べて 28,243千円増加した。
(第6表)

第 6 表 基金現在高の推移 (単位：億円)



(単位：千円)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一般会計	定額運用基金	67,489	67,505	67,509	0	0
	特定目的基金	6,167,970	6,227,325	6,466,661	7,708,773	7,372,239
	減債基金	75,650	75,695	575,721	575,833	575,936
	財政調整基金	6,248,916	7,359,996	8,677,727	9,489,297	9,517,540
	計	12,560,025	13,730,521	15,787,618	17,773,903	17,465,715
特別会計 計		677,901	760,056	776,693	917,058	1,163,301
全会計合計		13,237,926	14,490,577	16,564,311	18,690,961	18,629,015